

あいかわ 議会だより

第 131 号

責任者 議会議長 鈴木一之
年4回発行・本号18ページ



菊花展（山十邸）

13人が一般質問に登壇・町政を問う

平成22年度決算を認定！
歳出総額 211億2千859万9千円

新たな船出 新議会構成決定

P9

P4

P2

平成23年11月15日 <9月第3回定例会・10月第1回臨時会>

○発行/愛川町議会 編集/議会だより編集委員会 〒243-0392 神奈川県愛甲郡愛川町角田251-1 046-285-6927(直通) 046-285-2111(代表)

人事決定

員会、常任委員会など

第1回 臨時会



鳥羽 清 副議長



鈴木 一之 議長

議長に鈴木一之氏

副議長に鳥羽清氏

10月21日(金)に、平成23年第1回愛川町議会臨時会が開かれま
した。

一般選挙後、初めてとなるこの臨時会では、正副議長をはじめ、
議会選出監査委員、議会運営委員会および各常任委員会委員の選
任等が行われました。



木下 眞樹子



熊坂 崇徳



佐藤 りえ



佐藤 茂



鈴木 一之



馬場 司



小林 敬子



山中 正樹

(敬称略)

会派構成 (◎は代表者)

愛政クラブ	◎小倉 英嗣 熊坂 弘久	鳥羽 玉利	清 優
あいかわ クラブ	◎馬場 司 渡辺 基	鈴木 一之	
あすか	◎山中 正樹	小島総一郎	
日本共産党 愛川町議員団	◎井上 博明	小林 敬子	
公明党	◎井出 一己	佐藤 りえ	
支えあう街・ みんなの会	◎木下眞樹子	熊坂 崇徳	

*「佐藤 茂議員」は会派に所属していません。

(敬称略)

議会運営委員会

(委員定数 8人 ◎委員長 ○副委員長)

◎井出 一己	○山中 正樹
小倉 英嗣	熊坂 弘久
馬場 司	渡辺 基
井上 博明	木下 眞樹子

に、馬場議員を選任することに同意を求め、議案が提出され、賛成全員で同意されました。

成しています。 監査委員は職見を有する者と議会議員で構成しています。

監査委員



馬場 司 監査委員

議会役員

正副議長、議会運営委

条例

◎ 愛川町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定

(賛成全員)

ポイント II 一般選挙後に、会派所属議員数の変更があったことにより、会派所属議員の比率により委員を割り当てている議会運営委員会



熊坂 弘久



玉利 優



井出 一己



渡辺 基

人事

◎ 愛川町農業委員会委員の推薦

施行期日は公布の日

の委員定数を改める必要が生じたため、愛川町議会委員会条例第4条の3第2項に規定する委員定数を「9人」から「8人」に改正したものです。



井上 博明



小島 総一郎



鳥羽 清



小倉 英嗣

議員の任期満了による議会推薦委員の辞職に伴い、町長から後任委員の推薦依頼があったため、次のとおり後任委員として推薦することに決定しました。

議会推薦委員

- 小倉 英嗣議員
- 熊坂 弘久議員

(敬称略)

議会だより編集委員会	
(委員定数 8人 ◎委員長 ○副委員長)	
◎小林 敬子	○渡辺 基
佐藤 茂	佐藤 りえ
熊坂 崇徳	玉利 優
馬場 司	鳥羽 清

(敬称略)

教育民生常任委員会	
(委員定数 8人 ◎委員長 ○副委員長)	
◎渡辺 基	○小林 敬子
佐藤 茂	佐藤 りえ
木下 眞樹子	玉利 優
鳥羽 清	小島 総一郎

(敬称略)

総務建設常任委員会	
(委員定数 8人 ◎委員長 ○副委員長)	
◎熊坂 弘久	○井上 博明
熊坂 崇徳	井出 一己
山中 正樹	馬場 司
鈴木 一之	小倉 英嗣

平成23年第3回愛川町議会「9月定例会」は、9月1日に開会され、会期29日間(本会議開催日6日間)にわたり開かれました。

この定例会では、平成22年度各会計決算の認定をはじめ、教育委員会委員の任命、条例の一部改正や補正予算、財産の取得、訴えの提起、町道路線の廃止・認定など、合計18件の町長提出議案を可決・認定しました。

また、10月21日(金)に平成23年第1回愛川町議会臨時会が開かれました。町議会議員一般選挙後、初めての議会となるこの臨時会では、正副議長をはじめ、議会運営委員会、各常任委員会、議会選出監査委員の選任などが行われました。

22年度各会計決算を認定

◎一般会計歳入歳出決算の認定
(賛成15人・反対2人)

◎国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定
(賛成15人・反対2人)

◎後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定

◎老人保健特別会計歳入歳出決算の認定

◎介護保険特別会計歳入歳出決算の認定

◎下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定

(以上賛成全員)

※議長は除く
ポイント＝議会は、一

会計年度の歳入歳出決算について、その内容を審議しなければなりません。

これは、予算が当該年度の歳入歳出についての予定的見積りであり、必ずしも当初の予測そのままに運営されるものではないため、具体的な事業内容や執行の実績・結果について、執行機関が議会の審議に付するもので

議会の監視により町の財政運営の適正化を図っています。

平成22年度 各会計決算額

会 計	歳 入	歳 出	
一般会計	124億1,864万8千円	118億3,787万1千円	
特別会計	国保	54億3,041万0千円	53億7,121万4千円
	後期高齢者	2億7,438万9千円	2億6,051万6千円
	老人保健	131万7千円	125万3千円
	介護保険	17億2,953万5千円	17億2,868万3千円
	下水道	12億7,673万1千円	12億6,163万9千円
企業会計	水道	6億2,386万9千円	6億6,742万3千円
合 計	217億5,489万9千円	211億2,859万9千円	

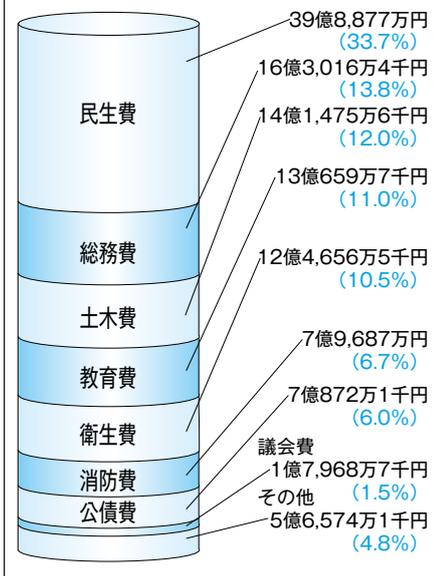
平成23年 第3回定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
9	1	木	本 会 議	教育委員会委員の任命の採決 町長提出議案の説明
	2	金	本 会 議	一般質問 (6人)
	5	月	本 会 議	一般質問 (7人)
	8	木	本 会 議	補正予算・事件関係議案の総括質疑・討論・採決
	12	月	本 会 議	22年度決算等の会派代表総括質疑、委員会分割付託の決定
	14	水	総務建設常任委員会	付託案件の審査
	15	木	教育民生常任委員会	付託案件の審査
	20	火	総務建設常任委員会	付託案件の審査
	21	水	教育民生常任委員会	付託案件の審査
28	水	本 会 議	付託案件の審査結果の委員長報告・質疑・討論・採決	

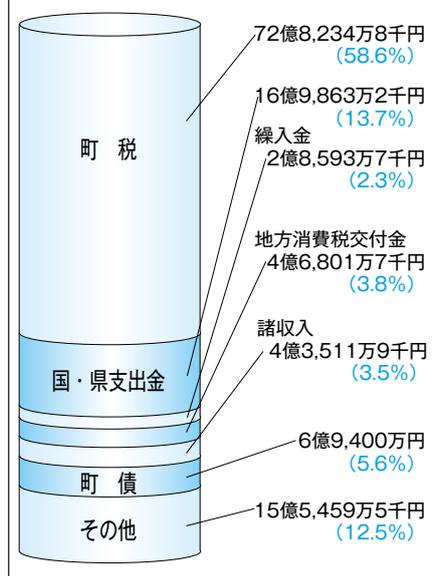
平成23年 第1回臨時会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
10	21	金	本 会 議	議長選挙 副議長選挙 議会運営委員会委員・常任委員会委員、監査委員の選任 農業委員会委員の推薦議員提出議案の質疑・討論・採決

一般会計歳出目的別構成



一般会計歳入構成



改正条例

◎愛川町非常勤職員
の報酬及び費用弁償に
関する条例の一部を改
正する条例の制定

(賛成全員)

スポーツの価値や社
会的役割の重要性が高
まる中、従来の「スポ
ーツ振興法」が全面改
正され、スポーツに関
する基本理念や国・地
方公共団体の責務、施
策の基本事項などを定
めた「スポーツ基本法」
が制定されたことに伴
い、「体育指導委員」の
名称が「スポーツ推進
委員」に改められたこ
とから、所要の改正を
行ったものです。

施行期日は公布の日
◎愛川町税条例の一部
改正

〔現下の厳しい経済状
況及び雇用情勢に対応
して税制の整備を図る
ための地方税法等の一
部を改正する法律〕の
制定に伴い、地方税法
の一部が改正され、地
方税に係る罰則につい
て、過料の上限額が引
き上げられるとともに、
新たに「たばこ税」の
不申告に対する罰則規
定が設けられたことか
ら、所要の改正を行っ
たものです。

(賛成全員)

東日本大震災の被害
の甚大さ等に鑑み、「災
害弔慰金の支給等に関
する法律」の一部が改
正され、災害弔慰金の
支給対象となる遺族の
範囲が拡大されたこと
から、所要の改正を行
ったものです。

【新たに支給対象となる 遺族の範囲】

配偶者、子、父母、孫
祖父母のいずれも存し

ない場合における死亡
者の兄弟姉妹であつて、
死亡者の死亡当時その
者と同居し、又は生計
を同じくしていた者
施行期日は公布の日

補正予算

◎平成23年度一般会計
補正予算(第1号)

(賛成全員)

今回の補正は歳入歳
出にそれぞれ3千60
0万円を追加し、歳入
歳出予算の総額を11
8億5千600万円と
したものです。

主な内容は、高齢者
グループホーム及び小
規模多機能施設開設準
備経費補助金、消防団
員等公務災害補償掛金、
避難所対策用防災備蓄
品購入費、防災行政無
線屋外拡声簡易子局設
置工事費等の経費に係
るものです。

◎平成23年度国民健康
保険特別会計補正予算

(第2号)

(賛成全員)

今回の補正は歳入歳出
にそれぞれ344万3
千円を追加し、歳入歳
出予算の総額54億3百
万2千円としたもので
す。主な内容は、取立
訴訟に係わる弁護士費
用等です。

財産の取得

◎ハイブリッド塵芥収
集車購入

(賛成全員)

2トン級塵芥収集車
が排ガス規制により、
使用できなくなるこ
とから1台を更新するも
のです。

取得価格
745万4千370円

納入者

神奈川いすゞ自動車株
式会社 相模原事業部

納入期限

平成24年3月16日

訴えの提起

◎訴えの提起について
(町税等差押債権取立
金請求) 他1件

(賛成全員)

町税等の滞納金を徴
収するために差し押さ
えた債権(滞納者が第
三債務者「消費者金融
業者」に対して、利息
制限法第1条第1項の
所定の利息の制限額を
超えて支払った金銭「過
払金」の不当利得返還
請求権)の取立てに対
し、第三債務者が支払
いに応じないことから、
取立訴訟を提起するも
のです。

人事議案

◎教育委員会委員の任
命について

(賛成全員)

教育委員会委員の熊坂
直美氏(現教育長)が平
成23年10月27日をもつて
任期満了となることか
ら、引き続き同氏を任命
することに同意しまし
た。

議会審議の様子を 録画配信しています

町議会では、ライブ中
継終了後にも議会審議の
様子をご覧いただけるよ
う、インターネットによ
る議会の録画配信を行っ
ています。

ライブ中継及び録画配
信の視聴に当たっては、
「愛川町議会ホームページ」
内の「愛川町議会イ
ンターネット中継」の項
目をクリックして進んで
ください。

なお、録画配信の視聴
可能期間は、ライブ中継
終了後、およそ3日後(土・
日・祝日を除く)から、
概ね3年間となります。
愛川町議会

ホームページアドレス

http://www.town.aikawa.k
anagawa.jp/assembly/index
.html



常任委員会での主な質疑

総務建設常任委員会

問 わたしの提案の内容について

答 平成22年度のわたしの提案は、40件53項目のご提案をいただきました。この53項目を分野別に見ると、公共サービスに関するものが25件と最も多くなっており、次に道路・交通整備・都市整備など都市基盤整備に関するものが9件、防犯・防災が5件、環境が5件、子育て・教育が3件などとなっております。

このうち、年度内にすぐに何らかの対応をしたもの及び平成23年度予算に反映し対応することとしたものは、第1号公園屋外施設の喫煙場所の見直しや砂場付近へのベンチの設置、福祉センター3階トイレへのチャイルドホルダーの設置、小中学校教室の暑さ対策など8項目です。

問 行政評価制度の運用上の課題と改善点について

答 本町では、限られた行政資源である人、財源物を効果的に活用していくために必要な「計画・実施・評価・改善」のマネジメントサイクルを行政運営に取り入れ、町民参加と情報共有という自治基本条例の趣旨に沿った評価結果を積極的に公表することにより、効率的で質の高い町民本位の行政運営の実現を目指し平成16年度から行政評価制度を導入しています。

そこで、行政評価の精度を高めるため、平成22年度から評価対象事業を約30件程度に絞り込み、内容を掘り下げて分析し精度の高い評価結果を得て、予算編成へ反映できるように、改善に努めてきたところです。

問 林産物特産化事業補助金の成果について

答 愛川町森林組合が実施した木工製品の試作研究、各種木工教室の開催さらに木工製品の需要拡大と特産化を図った事業に助成したものです。

平成22年度の成果についてですが、間伐材や製材の端材を活用した木馬等の玩具、花台、プランター、鍋敷きなどのほか木のぬくもりや温かさを実感してもらえよう、塩川滝、高取山ハイキングコース入口ほか4か所に設置したベンチ、治山工事土留め用杭などが製品化されています。

また、つつじまつり、農林まつり、ふるさとまつりなどのイベントにおいて、木工教室による親子のふれあい、林産品・炭製品の展示販売を行うとともに、あいかわ公園

内の工芸工房村にある地場産品販売所にも陳列し、製品の販売を通して、木製品の良さを広くPRできたものと思っています。

問 住宅用火災警報器促進戸別訪問の成果について

答 住宅用火災警報器は火災予防条例の改正により、新築住宅については平成18年6月から、既存住宅についても本年6月から設置が義務化されました。

こうしたことから、昨年度の秋と春の2回、火災予防運動の時期に合わせ、地域防災のリーダー

である消防団員を中心にすべての行政区において戸建て住宅を対象に、延べ2、856世帯の戸別訪問を実施しました。

戸別訪問の成果については、具体的な数値等がないため、明確な成果については申し上げられませんが、地域に密着した消防団員が直接住民と接したことにより、火災報知器の設置促進や防火普及啓発活動の推進が図られたものと考えています。

教育民生常任委員会

問 メール配信業務委託内容について

答 不審者情報メール配信は、平成20年8月1日より開始しています。利用方法は、町の携帯電話のホームページへアクセスし、登録を行います。メール配信サービスを選択し利用規約に同意後「愛川町メール配信登録」に空メールを発信します。すぐに町から登録の案内メールが返信されますので内容に従い登録を行い完了となります。不審者情報メール配信情報の内容、平成22年度の実績については、ひったくりが1件、振込め詐欺が19件、防犯啓発が10件合計30件です。

問 健康づくり推進委員の活動状況について

答 「健康づくり推進委員」は、各行政区からの推薦により、1名ずつ選出され、町の非常勤職員として町長が委嘱をし、原則2年間の任期で、21名の方に務めていただいています。

主な活動は、6月に開



催しています「あいかわ健康の日」をはじめ、地域巡回健康相談、毎月行っている乳幼児健診の受付や案内など、主に健康に関する行事等の補助的な活動をしていただいています。平成22年度については、年間38回、延べ人数219名の方に出席いただいています。

この内訳は、0歳から小学校就学前のお子さんについては、助成件数は39、932件、助成金額は7千308万8千円です。

次に、小学校1年生は5,913件、1千233万6千円、同2年生は6,284件1千481万2千円、同3年生は5,657件、1千206万2千円、同4年生は5,032件、1千18万円、同5年生は、1,463件、366万3千円、同6年生は、1,300件、329万5千円となっています。

問 小児医療費助成事業費における0歳から小学6年生までの助成実績について

答 助成総件数は、65,581件、助成総額は1億2千943万9千円です。



所管事務調査

平成22年度事業の 現地調査を実施

※所管事務調査とは、常任委員会が自主的にその所管する事務を取り上げ積極的に調査を行なうことが出来る特別な権限です。

今回は平成22年度事業の決算審査の補完的な位置付けとして、現地調査を実施しました。

総務建設常任委員会

【調査日】

8月17日(水) 午前9時

【調査箇所及び内容】

- ①中津231号線
：舗装打換工事・延長137.4m(中津六倉地内)
- ②中津228号線
：歩道整備工事・延長357.6m(内陸工業団地内)
- ③上熊坂公園防球ネット
：設置工事・延長32.7m・高さ5m(中津)

上熊坂地内)

- ④柵沢下平地区内獣害防止電気柵
：設置工事・延長498m(愛川聖苑北側)

- ⑤幣山下平線

- ：第2期分道路改良工事
・延長336.1m(角田幣山地内)

- ⑥丸山農道

- ：改良工事・延長238.1m(角田丸山耕地内)

- ⑦田代6568号線

- ：舗装工事・延長330m(平山大橋下流右岸側)

- ⑧愛川織維会館

- ：塗装修繕
- ⑨半原処理分区

- ：面整備工事(開削)・延長272.2m(平原川北日向地内)

- ⑩するすみ排水区

- ：雨水排水整備・舗装工事・延長76m(久保ポンプ場南側)

教育民生常任委員会

【調査日】

8月22日(月) 午前9時

【調査箇所及び内容】

- ①三増公園管理経費
：三増公園陸上競技場第3種公認更新事業
- ②学校施設整備事業費
：半原小学校普通教室等FFファンヒーター取り替え工事
- ③学校施設整備事業費
：田代小学校放送機器交換工事

【調査日】

8月22日(月) 午前9時

【調査箇所及び内容】

- ④保育所施設整備事業費
：中津南保育園大規模改修工事
- ⑤体育施設管理経費
：坂本体育館玄関前改修工事
- ⑥公園管理経費(有料公園施設分)
：第1号公園テニスコートフェンスかさ上げ工事
- ⑦図書館運営事業費
：図書館蔵書管理委託(図書色別シール添付業務)



こいは どよみの

一般質問

町長 第5次総合計画前期基本計画における広域的な道路網の整備の1つとして検討をすることとしておりますが、具体的な線形等の決定までには至っていません。
*道路線形：上空及び側面から見た道路の曲線や勾配等、道路の形状のこと。

総合計画に整備位置付 具体策は検討

問 国道412号線から角田大橋までの間、*道路線形についての考え方と今後の進め方について伺います。

おぞこ 海底地区の 道路線形について



成瀬 和治議員

問 特別養護老人ホームなど介護施設への入居状況と待機状況について伺います。

特別養護老人ホーム 入居者と待機状況

入所者 238名
待機者 181名

町長 介護保険施設は、近隣自治体との広域的な事業が可能であり、町外の施設を含め、特別養護老人ホームに123人、介護老人保健施設に104人、介護療養型医療施設に11人、合計238人の方が入所しております。また、待機状況でありますが、特別養護老人ホームの待機者は176人、介護老人保健施設の待機者は5人となっております。他の質問事項①選挙の投票率低下②企業誘致

効率的な行政経営を 「小さな政府」で



熊坂 徹議員

問 これからの自治体は効率的な行政経営が求められます。そこで、「小さな政府」に対する基本的な考え方を伺います。

長期的な視点で 改革を進める

町長 これからは税収が増えず、逆に少子高齢化により、住民ニーズは増大する中、行政サービスを持続していくためには長期的な視点に立ち、小さな政府へ向けた改革を進めていかなければならないと考えています。

クラウド・コンピューティング 情報システムの共同利用

問 クラウドとは、ネット上のサーバーを空に浮かぶ雲（クラウド）に見立て、インターネット経由でさまざまなソフトやサービスを利用する技術のことです。県町村会では、クラウドによる情報システムの共同利用のための事業組合を設立し、住民記録や町税、国民健康保険税などの基幹業務系システムの運用が10月から始まります。そこで、今後の取組みについて伺います。

文書管理システムや グループウェアも

町長 人事給与システムや財務会計システムについても、来年度以降の共同利用が決定していますし、文書管理システムやグループウェアなどもクラウド・コンピューティングによる共同運用が可能か検討したいと考えています。

他の質問事項①分権時代の法制執務



県内の町村で住民記録等を共同利用する新システム



「待機児童ゼロの町」 宣言の考え

山中 正樹議員

問 若い世代が住みやすい町というメッセージを込めて、「待機児童ゼロの町」宣言をする考えはないか伺います。

中津南保育園改修で 待機解消を目指す

町長 本町の待機児童の状況は、平成22年度8人、23年度9人でしたが、中津南保育園の改修が完了し、7月以降順次入所を進めています。

宣言は特段考えていませんが、できる限り待機児童解消を推進し、住みやすい町を目指します。

新エネルギーへの取り組み

問 黒岩神奈川県知事は新エネルギー推進の立役者として注目を集めています。6月議会でも連携・協力を提案しましたが、再度、新エネルギーに対する考えを伺います。

メガソーラー提案 将来は風力発電も

町長 今回の原発事故を受けて、将来的にも需給安定化を図る為、新エネルギーへの転換の推進が

重要と認識しています。

メガソーラーの設置場所として旧県警グラウンドの有効活用を真に提案・要望しています。宮ヶ瀬ダムには発電所が設けられ、また、県立あいかわ公園「風の丘」が風力発電の立地に適していることから、将来的には「水力・太陽光・風力」3種類の自然エネルギーが揃います。PRを充実させれば、環境教育の場としても期待が持てます。

他の質問事項なし



静岡県御前崎市内の風車



ダム決壊の 被害想定

渡辺 基議員

問 7月21日に開催された県央相模川サミットにおいて、ダム決壊の被害想定を県副知事に要望されましたが、その回答について伺います。

想定以上の震度でも 安全性に問題なし

町長 現在、想定されている震度以上の地震が発生しても、ダムの安全性に問題はないと伺いました。また、ダム決壊に伴う被害想定については住民の不安を煽ることになるため、被害想定は行わないとのことでした。



町の景観を守ろう＝八菅橋橋脚の落書き

(仮称)みんなで守る環境美化のまち条例 実効性に向けた取り組み

問 平成24年度から(仮称)みんなで守る環境美化のまち条例の施行が予定されていますが、その条例の実効性に向けた取り組みを伺います。

町長 この条例では、その「禁止・順守事項」と「調査・罰則」を規定し、更に「調査・罰則」の規定をしています。他の質問事項なし

「禁止・順守事項」と 「調査・罰則」を規定

の実効性を確保するため町民、事業者及び土地所有者との協働により、きれいで住みよいまちづくりを継続的に推進することを目的に「責務の明確化」を規定し、十一項目からなる「禁止・順守事項」の規定と「表彰の実施」更に「調査・罰則」

町長 近年局地的な豪雨が多発し、本町でも20年8月に一部地域で浸水被害が発生したことから、野尻幹線とするすみ排水区の雨水整備に取り組んでいます。今後は原白住宅付近の雨水を宮沢に流す幹線整備を予定しています。

一部地域で浸水被害 今後原白で幹線整備

問 福島県や新潟県で超える猛烈な豪雨により堤防が決壊・大被害に見舞われ、県内でも豪雨が多発しています。本町の計画的な雨水幹線整備を伺います。

計画的な雨水整備を望む



小倉 英嗣議員

問 佐賀県知事のメル問題や原子力保安院による賛成発言依頼が発覚した事で、原発再稼働が難しくなっており、長期的な電力不足が心配されます。そこで本町の長期的節電計画を伺います。

電力不足・長期的節電計画を

に対し、町では25%削減に取り組み、本庁舎で7月の使用電力は、前年比で最大40・7%の大幅削減が達成できました。今後も節電対策を継続し、計画的に取り組んでいきます。

他の質問事項①有害鳥獣対策

大幅削減を達成 今後も節電を継続

町長 国の削減目標15%



野尻沢水路

問 防災設備の安全性の面から、小中学校における非構造部分の耐震化について伺います。

小中学校の耐震整備 非構造部分の耐震化



井出 一己議員

問 防災行政無線で放送した内容(地震、台風、洪水などの災害に関することや住民の皆さんの生命、身体、財産に重大な影響があると判断される情報)を電話で聞くことができる音声自動応答サービス(ササビ)の導入について伺います。

耐震対策は重要 細部を点検

町長 天井材や照明器具外壁などの非構造部材は診断の対象外ですが、日常の点検で、随時対応しています。

しかし、想定を超える地震に備え、非構造部材への耐震対策は重要と認識しています。災害時に避難所となる屋内運動場は、引き続き細部の点検をしていきます。

防災無線難聴地域解消対策 音声自動応答装置の導入



災害時に避難場所となる町立中学校

問 防災行政無線で放送した内容(地震、台風、洪水などの災害に関することや住民の皆さんの生命、身体、財産に重大な影響があると判断される情報)を電話で聞くことができる音声自動応答サービス(ササビ)の導入について伺います。

電をいただき、情報提供するテレホンサービスで放送が聞こえなかった、あるいは、もう一度聞きたい場合に、フリーダイヤルにより、放送内容を再度聞くことができるものです。

導入自治体の利用頻度 低く研究課題

町長 電話加入者から入

活用している自治体に確認をしたところ、利用頻度は高くないようです。現時点では、研究課題とします。他の質問事項なし



交付団体となった町財政の再建

熊坂 弘久議員

問 地方交付税の交付団体となった町の財政の再建はどうするのか伺います。

算出方法の変更で歳出削減の徹底

町長 基準財政需要額のうち、臨時財政対策債可金額の算出方法の変更に、財政力指数が0.987となったものであり、実態として財政状況が悪化したものではないが、厳しい状況であり、徹底した歳出削減を指示していきます。

「グローバル化進展」対応する人材の育成

問 政治、経済、文化など各分野でグローバル化が進んでいるがそれに対応出来る人材の育成をし、町発展の原動力となつてもらう必要があると思うが、この点を伺います。

国際化を見据え育成を推進

教育長 主体的、積極的に国際社会に貢献できる人材の育成が必要であり国際化を見据えて、育成

を推進していきます。高校生の海外留学支援については、まだ愛川高校等とは協議しておりませんが、情報交換などは行っております。中学、高校の部活動は学習指導要領を踏まえ部活動の活性化支援に努めていきます。地元出身者の講演会開催については十分考慮し、効果的に開催していきます。他の質問事項①開通後の幣山・下平線



町出身者のアスリートとあいかわスポーツレクリエーション

震災発生時要援護者の対応

近藤 幸子議員

問 ①援護者のための緊急時持ち出しリストの作成 ②災害時の要援護者の判別方法と支援者への周知 ③認知症・障がい者当事者と家族や支援者向けの学習会やワークショップの開催について伺います。

支援マニュアル作成に合わせ検討

町長 現在、関係各課等で災害時要援護者支援マニュアルを作成しているところです。ワークショップ開催は、支援マニュアル作成にあわせ、検討します。

各種団体への補助金の考え

問 税収減となり、本町は地方交付税の不交付団体から交付団体となりました。今後ますます厳しくなる町行財政ですが、町として各種団体への補助金についての考え方と今後の方向性を伺います。

自助努力を促し意識の改革も図る

町長 本町では、行政改革大綱に基づき、簡素で効率的な行財政運営を

目指し、補助金や交付金も適正化に努めてきました。公益性の検証・効果・団体運営と会計処理の適正を総合的に判断し、団体の自立が見込めるなどの場合には、可能な限り補助の終期を設定するほか、会費の見直しなど団体の財源確保に向けた自助努力を促し、行政への依存度を改めるなど、各団体における意識の改革も図ってまいります。他の質問事項なし



災害時避難訓練のようす

国保医療課長 人間ドックを受けた病院で、医師から指摘があった場合に、精密検査は、基本的には自己責任で受けていただくものであると考えています。

精密検査は自己責任で

問 人間ドックの受診者数は180人そのうち、精密検査の必要な方が82人で45・6%、治療が必要の方が48人で26・6%、異常なしの方は1人ですが、治療を受けているかの追跡調査をしているか伺います。

人間ドック受診者追跡調査が必要



小林 敬子議員

環境経済部長 消防本部が保持している簡易型の測定器は県の測定器とは大分精度の違いが出ています。県の測定器は非常

県の測定器 町長から要請

問 小さい子供を持つ親たちは、砂場やホップスポットと言われる放射線がたまりやすい場所の測定を求めています。町長の考えを伺います。

砂場の放射線量調査



他の質問事項①環境保全部型農業の支援②広域避難所食料等の備蓄

に精度の高いもので、今後、県のほうで異常値が出た場合は消防の簡易測定器を使うことも考えていますし、再度、県のほうで全県下でやっていただきたいと町長からお願いが出ていますので、その辺の状況を見ながら、町として対応を図っていただきたいと考えています。

町長 3種類のワクチン接種に対する国の補助制度を活用し、本年2月1日から全額公費負担助成による接種を実施している。来年度以降の事業継続の有無については、国の補助事業や他市町村の実施状況を勘案し検討していきたいと考えています。

国の補助制度活用 他の状況勘案

問 子宮頸がん、ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種事業は限定的事業であり、3ワクチン接種継続を要請しますが、町の対応を伺います。

子宮頸がん等ワクチン接種継続



井上 博明議員

町長 馬渡橋の右岸側と左岸側の境界が不明な土地や所有者と利用者が異なる等架け替え事業が進まない要因となつていま

県と連携 積極的に協力

問 長年の町民の悲願であります、馬渡橋の早期架け替えを求めます。これまでの進捗状況と今後の見通しについて伺います。

他の質問事項①学校教育②高齢者の生活支援

す。右岸側については、関係地権者のご理解をいただき全体の処理方針については了承されましたが、左岸側は土地の境界の位置や面積等解決しなくてはならない課題も多く合意に至っていないと県から伺っています。町として引き続き県と連携し、事業が推進するよう協力していきたいと考えています。

馬渡橋の早期架け替え



早期架け替えを望む半原馬渡橋



熊坂教育の信念

中山 民子議員

問 教育長が信念としている子供たちへの教育について伺います。

目指す人間像は和・徳・体・知

教育長 互いに協力し合える社会性のある人間、明るく、心と表情が豊かな人間、健康・体力を増進し、生命を尊重する人間、学ぶ楽しさを知り、個性を伸長する人間の調和のとれた人間づくりを目指し、町の子どもは、かけがえない町の宝でありますので、このことを肝に銘じ、教育の充実に努めます。



学校農園の稲刈り

あいかわ子育ていきいき宣言 家庭・保護者への協力

問 一昨年、保護者向けに「あいかわ子育ていきいき宣言」を発表しましたが、家庭の協力が不可欠であることから、家庭・保護者に対しての働きかけを伺います。

るためには、家庭の協力が不可欠であると再認識いたしました。

家庭の協力が必要 学校等へ協議依頼

教育長 平成19年度から開始された全国学力・学習状況調査の結果から、児童生徒が健全に成長す

宣言の内容の周知につぎましては、教育委員会が主催するPTAや地域の会議等で積極的に配付・説明を行うとともに、学級懇談会やPTA総会などの機会に家庭教育について協議するよう依頼しています。

他の質問事項なし



ごみの中間処理施設稼働の見通し 今後のあり方

小島総一郎議員

問 ごみの広域処理の施設整備の稼働の見通しと今後の組合のあり方について伺います。

予定どおり進捗 情報発信が必要

町長 中間処理施設の稼働の見通しには、平成32年度を目指し、スケジュールの範囲内で進捗していると伺っています。今後の組合のあり方は、自治体の枠を超えてごみ処理を行うことから、情報の発信を積極的にを行い住民の理解と透明性を確保した運営が必要と考えています。

温暖化防止教育の取組み

問 学校の温暖化防止教育と学校施設の取組みについて伺います。

環境教育で学習 緑のカーテン設置

教育長 温暖化防止教育の取り組みについては、環境教育の一環として学習が行われており、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の中で、それぞれの特性に応

じ、また相互に関連させながら学校教育全体の中で実施しています。また学校施設における温暖化防止の取組みは、つる植物を利用した緑のカーテンやビオトープの設置、各小学校には、生ごみ処理機を計画的に設置し給食から出る生ごみのたい肥化等を実施しています。他の質問事項①中学校歴史教科書採択



緑のカーテン
＝愛川中原中学校

町長 道路改良による渋滞解消やバス路線の維持と利便性の向上、鉄道を初めとする新しい交通手段の研究等、短期間で効果が出せないものもあることから、引き続き近隣市町村や関係機関等と連携を図りながら着実な取り組みを進めていく考えです。

**近隣等と連携
着実に取り組む**

問 第5次総合計画の住民アンケート調査で公共交通の充実に求める声が多いが、当面の施策について伺います。

**住民が求める
公共交通の充実**



熊澤 俊治議員



住民が期待する鉄道の延伸
小田急線唐木田駅

町長 平成22年度の公募委員の状況は、審議会等11の機関で応募数は18名

**応募数は18名
傍聴者は59名**

また、傍聴者は、会議を公開した審議会等22機関で合計38回の会議を開催し傍聴者は59名でした。町では、審議会等の傍聴を初め、町政全般に町民皆さんの積極的な参加がいただけるよう、一歩一歩住民参加や協働の意識の醸成を図っていきたいと考えています。他の質問事項なし

問 各種審議会の委員の選出については、各種団体の役員及び一般公募者の方々によって委員構成が図られますが、公募委員の公募状況及び審議会の傍聴者の状況について伺います。

**各種審議会
公募委員と傍聴者の状況**

陳情の審査結果

(敬称略)

件名	結論	陳情者
陳情第1号 T P P 交渉参加反対に関する陳情 (継続審査分)	趣旨採択 (賛成13人、反対4人)	愛甲郡愛川町中津747番地 県央愛川農業協同組合 代表理事組合長 齋藤 栄一
陳情第4号 神奈川県最低賃金改定等についての陳情	机上配付	厚木市旭町1-9-18志澤 (うりんぼうビル3F) 日本労働組合総連合会神奈川県連合会 厚木愛甲地域連合 議長 加藤 良秋

*陳情第1号については、委員長報告に対する賛否

今回の定例会で結論の出た請願・陳情は次のとおりです。

請願・陳情のゆくえ

討

論

反対

民主みらい

熊坂 徹議員

民主みらいを代表し、平成22年度一般会計決算について、反対の立場から討論します。

本年4月、10年の歳月をかけて完成した町道幣山下平線が開通しました。事業費の総額は約24億円で、職員の人件費を除き、毎年2億4千万円の予算をつぎ込んだことになり、これだけのお金をかけてつくる価値があったのか極めて疑問です。この路線は、地形の関係から山の部分に橋をかけなければならず、事業費の大半がそのために費やされました。橋梁工事は特殊な技術が必要なため、町外の専門業者が工事を受注・施行しました。これでは経済効果も半減で地元業者を潤すことはありません。ま

た、この道路は調整区域内で、周辺の開発、土地利用はできず、桜台小沢線のように周辺の地価があがり、税収に結びつくことはありません。

開通後の交通量は、当初見込みの一日当たり4千500台の半分程度で、2、3年後に実現したとしても、通勤・通学等生活の利便性の向上や、産業活動が活性化し愛川町の発展に寄与するとは思われません。

小中学校用務員業務委託料について、以前からシルバー人材センターに委託すべきだと申し上げてきました。現在、用務員として派遣されているのは全て女性なので、植木の手入れや外の仕事ができない時は、シルバー人材センターにお願いしているのが現状だそうです。

用務員業務をシルバ

賛成

あいかわクラブ

馬場 司議員

あいかわクラブを代表し、賛成の立場から討論します。

町内に新設される高齢者介護サービスの基盤となる特別養護老人ホームの整備に対する助成や地域高齢者の情報交換、相談の場である高齢者サロンに対する介護予防の講師の派遣を行ったほか、重度・中度障害者の健康保持経済的負担の軽減を図るため、医療費の自己負担分全額助成等を実施し、高齢者・障害者福祉の推進を図ったことを評価します。

消防費では、高規格救急車の更新やAED維持管理を行い、緊急時の救急救命体制の充実に努めたほか、防災行政無線屋外拡声簡易子局の新設や移設を実施し、情報伝達手段の

拡充を図ったことを評価しますが、東日本大震災の教訓を踏まえて、

消防力、防災力の強化の一層の努力をお願いします。

農林水産業費では、各種農業振興対策や林業振興事業、農道・農業用水路の整備を実施したほか、有害鳥獣対策事業として猿の移動監視や獣害防止電気柵を設置し、農作物の被害防止に努めたところであり、特に、有害鳥獣対策については根本的な解決策が見あたらない状況ですが、耕作意欲の減退や耕作放棄地を増加させないためにも、新規就農者支援も含めて行政で出来る地道な取り組みに期待します。



賛成

愛政クラブ

熊澤 俊治議員

愛政クラブを代表し、賛成の立場から討論します。

歳入では、国保税の収入額が12億3千902万2千円となり、21年度と比較すると3千888万2千円、率にして25%の減収になっていますが、町では税金の確保のためコンビニ収納の導入や県下で唯一となる過払い金債権取り立て訴訟を提起するなど、納税機会の充実や滞納整理の強化に努めることは評価をいたします。21年度と比較して改善されたとはいえ、収入未済額が約6億2千万円、不納欠損額が6千7百万円となっており、被保険者の公平性の観点から、さらなる縮減に粘り強く取り組んでいただきたいと思えます。

賛成

あすか

山中 正樹議員

新保健センターの建設は、町民みなさんに十分理解をいただける施設と考えているところであり、既に実施している予防接種、母子保健、健康増進、感染症等の予防等の事業を計画的に進められているが、近年は感染症の新型インフルエンザの発生が大変に危惧をされている状況下でありますので、将来のことも十分に考慮した各種の有効活用が図れる施設を建設すべきであり、町民皆さん方に喜ばれる新保健センターの誕生を願います。

あすかを代表し、賛成の立場から討論します。

特別養護老人ホーム新設事業の補助について、清川村との共同計画事業であります。100床のうち80床は愛川町分であり、町で3つ目の特別養護老人ホームの整備を行うことは、高齢者が安心して老後を送ることが出来る町を実現するためにも評価をするべきものと考えます。ひとり暮らし老人緊急通報システム事業、徘徊高齢者等対策事業費など、時代をとらえた的確な事業展開を図ったものと評価します。

賛成

日本共産党

小林 敬子議員

日本共産党愛川町議員団を代表し、賛成の立場から討論します。

町の主な財源である町税では、法人税がエコカー減税や補助金の効果により自動車の需要が伸びたことなど、前年と比べると1億1千59万円の増額になりましたが、個人町民税を納める町民にとって所得の減収が多く、21年度と比べ3億299万円の減額となりましたが、その中で、切実に求められる町民の暮らし、福祉、教育、環境対策などの充実が図られたことに対し評価します。

賛成

公明党

井出 一己議員

への支援として入学支度金制度は子育て中の保護者の経済的な負担軽減に役立っています。環境問題では、ごみの減量化、再資源化について、7%のごみ量削減という目標の到達は平成9年度と比較して0.75%と目標に届きませんでした。なぜ目標に近づけなかったのか原因を分析し、目標に近づけるための手だてを立てたのか、しっかりと反省をしていたきたい。資源化のほうは、16年度が13.79%でしたが、22年度は20.55%になったというところで目標値に近づいたことは評価します。

公明党を代表し、賛成の立場から討論します。

子育て支援センター、ファミリーサポートセンターの運営、放課後児童クラブの土曜日と夏休み等の早朝預かりの開始、また、継続事業である「おむつ支給事業」では、カタログ選択方式の導入で利便性を向上し、民間賃貸住宅への家賃助成事業等推進できたことを認めるものです。

環境対策では、「住宅用太陽光発電設備の設置補助」の助成と拡大、「電気自動車に係る軽自動車税の全額免除」の開始が挙げられます。自然エネルギーの有効活用とともに資源化の推進で、自然環境への配慮に努めたことを評価し、今後とも、地球的な問題であるCO₂削減への取り組みを望みます。



町民の声

「わたしもひとこと」



篠崎 富雄 さん

(半原在住)

私は野鳥写真愛好家で、25年間野鳥の写真を撮り続けています。以前は春日台に住んでいましたが、どうしても自然に近いところに住みたくて、12年前、半原に越してきました。以来365日撮影できるようにと、カメラと双眼鏡は肌身離さずいつも車に積んで移動しています。

私の主な被写体は、カワセミです。「水辺の宝石」と呼ばれる美しい小鳥で、木の枝や水辺の杭、石の上などに止まり水辺を滑るように飛んでいく、空中で「ホバーリング」した後水中にダイビング、小魚を捕らえるのです。その瞬間をカメラに収めるのが私の至福のときです。

中津川でも1年中見ることができ美しい鳥ですが、本来巣としていた土手が、近年コンクリートに変ってしまい、カワセミやヤマセミの繁殖が危ぶまれています。水と緑豊かな町「愛川」の美しい自然がいつまでも続き、町民だけでなく近隣の皆さまがいつでも心を癒し、元気になってもらえる町であり続けること、美しい野鳥が幻の鳥とならないことを切に願っています。

次回定例会

次回、12月定例会は下表のとおりです。本会議はいつでも午前9時から開会します。

また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は、11月22日(火)に開催予定です。

日程が変更になる場合もありますので、詳しくは議会事務局にお問い合わせください。町ホームページでもご覧になれます。

平成23年 第4回定例会日程 (予定)

月	日	曜	会 議 名
12	1	木	本会議 (提出議案の説明)
	5	月	本会議 (一般質問)
	6	火	本会議 (一般質問)
	8	木	総務建設常任委員会
	9	金	教育民生常任委員会
	15	木	本会議 (総括質疑・討論・採決)
	16	金	予備日

ページでもご覧になれます。

ご覧ください 会議録

議会だよりは、紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。

詳しくは、下記の町公共施設に備え付けてある「会議録」をご覧ください。なお、9月定例会の会議録は、12月中には備え付けができる予定です。

また、町議会のホームページで平成11年以降の会議録がご覧になれます。

施設設置会議録

- 役場町政情報コーナー
- 半原出張所
- 中津出張所
- 福祉センター
- 文化会館図書館
- 農村環境改善センター
- 半原公民館
- 中津公民館

議会だよりは、録音ボランティアグループ「かえでの会」のご協力により視覚障害者用に音声テープ化されています。

ご希望の方は、社会福祉協議会にご連絡ください。(内線3792)

編集後記

季節の移り変わりとともに、落ち着きを取り戻した町議会は、新たな議員構成でスタートし、町民の代表として、常に町民の付託に応えるため、日々努力に努めております。

本委員会も、町民の付託に応えて活動する議会の姿を、紙面を通してお届けし、町民皆様と議会の懸け橋として親しまれる紙面づくりを心がけ、委員一同最大の努力を傾注いたしてまいります。

議会だよりについてのご要望やご意見を是非お聞かせください。

議会だより編集委員会

- 委員長 小林 敬子
- 副委員長 渡辺 基
- 委員 佐藤 茂
- 委員 佐藤 茂
- 委員 熊坂 崇徳
- 委員 熊坂 崇徳
- 委員 玉利 優
- 委員 馬場 清
- 委員 鳥羽 清